



次のステージを目指して飛躍！
ジャンプ



10
Oct. 2023
No.819

10月号の主な掲載記事

- ☑安心して生活できる大崎地域の医療提供体制の確保に向けて…………… P.2
- ☑山形県大石田町×宮城県涌谷町友好交流協定締結10周年記念企画
Instagram絆きずなフォトコンテスト実施要項… P.4

大崎地域の公立病院の役割分担

【基幹病院(大崎市民病院本院)】

急性期

病気になって間もない時期・状態が安定せず、集中的な医療介入を要する時期。



【基幹病院以外の公立病院】

回復期

急性期を乗り越え、容態が安定した時期・リハビリなどの治療で回復を目指す時期。



慢性期

病状が比較的安定し、病気の進行が穏やかな状態である時期。



大崎市夜間急患センターの移転と地域医療の連携拠点となる施設の整備を計画中です

現在、大崎地域の各公立病院では救急告示病院として、夜間も救急患者を受け入れています。令和6年4月から医師の労働時間の上限が適用されることに伴い、現在の診療体制での夜間診療の維持が困難となります。

このことから、大崎市夜間急患センター(旧大崎市民

病院)を現在の大崎市民病院本院の敷地内に移転・整備し、夜間の初期救急の集約化を計画しています。

集約することで、夜間急患センターと救命救急センターが連携し、より早急な診療対応が可能になります。

地域医療連携拠点施設

夜間急患センター機能を持った地域医療連携拠点施設を、現大崎市民病院本院敷地内に、令和8年度中に完成させる計画です。

地上3階建て(延べ面積3,000平方メートル程度)を想定し、感染症対応スペースに加え、地域内の医療従事者が共同で利用できる研修室などの整備も検討しています。



基幹病院以外の公立病院の役割

患者の受け入れが可能な時間帯まで夜間診療を継続するとともに、平日日中においては、基幹病院からの転院または救急患者などを積極的に受け入れることで、大崎地域内での医療連携を強化します。



医療提供体制の変化に伴う涌谷町国民健康保険病院の役割

【役割・機能の最適化と連携の強化】

涌谷町国民健康保険病院は、回復期機能および慢性期機能を担います。なお、必要な診療科や夜間の診療体制については、他の公立病院と協議しています。詳細が決まり次第、お知らせします。

【医師・看護師などの確保と働き方改革への対応】

地域に必要な医療を継続するため、大崎市民病院から

の医師などの派遣を受け入れる体制を構築します。また、医療従事者の育成とスキルアップに努めます。

【新たな感染症の感染拡大時に備えた機能・設備の充実】

感染症の症状が軽症または大崎市民病院での治療後、症状の比較的落ち着いている患者について、大崎市民病院と連携して、受入体制を構築します。

【問い合わせ先】 健康課健康づくり班

涌谷町国民健康保険病院総務管理課

☎25-7973

☎25-3118

安心して生活できる大崎地域の医療提供体制の確保に向けて

大崎市、涌谷町、美里町、色麻町、加美町の大崎地域 1 市 4 町では、医療に関わる人材や設備、財源などの限られた医療資源を地域全体で最大限効率的に活用できるよう、相互の役割分担・連携強化について協議しています。

また、住民が安心して生活できる医療提供体制を確保するため、各市・町で公立病院経営強化プランの策定を進めています。



公立病院を取り巻く状況

全国的な人口減少や少子高齢化が続く中、令和 4 年 3 月に総務省から「公立病院経営強化ガイドライン」が示されました。

近年、感染症の新規発生や大規模災害などの緊急事態が多く発生していることから、医療機関では今まで以上に機動的かつ柔軟に対応できるような体制の整備が求められています。

大崎地域全体で目指す医療提供体制

住民が安心して生活できる医療提供体制の確保のために、大崎地域では次に掲げる 3 つの項目の実現を目指します。

POINT 1 役割・機能の最適化と連携の強化

- 急性期機能は基幹病院である大崎市民病院本院へ集約し、周辺の医療機関はその後方支援機能を担う。
- 1 つの病院で治療を完結するのではなく、大崎地域全体で患者を支える体制を整備。
- 基幹病院である大崎市民病院本院に夜間の救急医療機能を集約。

POINT 2 医師・看護師などの確保と働き方改革への対応

- タスクシフト※1・タスクシェア※2を推進し、効率化を重視。
- 大崎地域の医療機関が相互に研修などを行える環境を基幹病院である大崎市民病院本院に整備。
- 医療従事者が効率的に働くことができるよう、ICT（遠隔診療などの情報通信技術）の活用を推進。
- 大崎地域内で人材を確保するために医療従事者の派遣などで連携。

POINT 3 新たな感染症の感染拡大時に備えた機能・設備の充実

- 平時から感染拡大時に転用しやすい病床や施設・設備を整備。
- 大崎地域全体で感染者の療養や感染拡大防止に関する連携・役割分担を行い、有事の際の備えを強化。

※1医師の仕事の一部を看護師などの他の職種に任せること。※2医師の仕事を複数の職種で分け合うこと。

大崎地域内で医療機関の役割を分担し、連携強化に取り組みます

大崎地域の公立病院の役割分担として、基幹病院である大崎市民病院本院が急性期機能を担い、基幹病院以外の公立病院が回復期・慢性期機能を担います。

また、地域で不足する診療科や専門的な診療科は、機能集約と役割分担を基本に、遠田郡・加美郡・大崎市医師会と共に連携を図り、適切な体制構築に努めます。

- 【基幹病院】**
大崎市民病院の本院
- 【基幹病院以外の公立病院】**
大崎市民病院鳴子温泉分院、大崎市民病院岩出山分院、大崎市民病院鹿島台分院、涌谷町国民健康保険病院、公立加美病院、美里町立南郷病院

山形県大石田町 × 宮城県涌谷町



Instagram

絆

フォトコンテスト

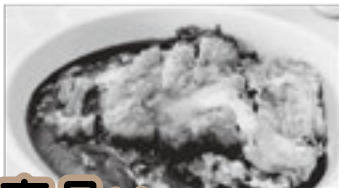
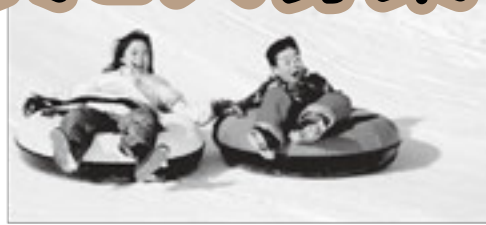
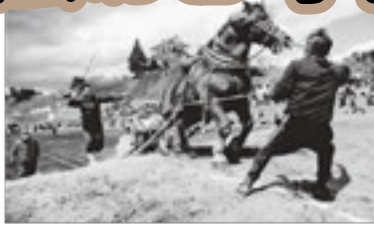
友好交流協定締結 10 周年記念企画

風景

グルメ

イベント

山形県大石田町または宮城県涌谷町で撮影した
両町の魅力が伝わる写真を大募集



入賞商品は

大石田町・涌谷町
特産品

応募期間 令和5年9月25日(月)～令和6年1月31日(水)

公式アカウントをフォロー、タグ付けし
「#絆フォトコン」でご応募ください!

大石田町
@town.oishida



涌谷町
@color_of_wakuya



詳しい応募方法・応募要項は涌谷町ホームページをご覧ください

お問合せ先 涌谷町企画財政課 ☎ 0229-43-2112 大石田町総務課 ☎ 0237-35-2111(代表)

山形県大石田町×宮城県涌谷町 友好交流協定締結 10周年記念企画 Instagram ^{きずな}絆フォトコンテスト実施要項

【事業趣旨】

平成25年9月20日に山形県大石田町と宮城県涌谷町が、文化、教育、産業、まちづくりなど幅広い分野における相互の発展を目指すとともに、大規模災害発生時に相互応援協力を行うことを目的に、友好交流協定を締結しました。

令和5年は、協定締結から10周年の節目となることから、今後も引き続き相互に交流を深め、両町の魅力のさらなる発見と発信を目的に、Instagramを活用したフォトコンテストを実施します。

投稿していただく写真は、大石田町または涌谷町で撮影した風景やグルメ、イベントなど両町の魅力が伝わるものを募集します。

投稿していただいた写真の中から、山形県大石田町賞(3点)、宮城県涌谷町賞(3点)、入賞(20点)を選出し、両町の特産品を賞品として贈呈します。

【応募方法】

1. 大石田町公式アカウント(@town.oishida)と涌谷町公式アカウント(@color_of_wakuya)をフォローしてください。
2. 応募者が自ら大石田町または涌谷町で撮影した写真を投稿してください。
3. 投稿写真ごとに、どこで何を撮影した写真かが分かるよう記載し、撮影地に応じて山形県大石田町公式アカウントまたは宮城県涌谷町公式アカウントをタグ付けし、ハッシュタグ「#絆フォトコン」を付けてInstagramに投稿してください。

(注意事項)

- ・必ず自ら撮影した写真を投稿してください。
- ・投稿回数に制限はありませんが、同じ写真を何度も投稿した場合には、無効となります。
- ・非公開アカウントの投稿は、審査できませんので、応募する際には、必ず公開アカウントで応募してください。

【応募期間】

次の応募期間内に投稿があった作品を審査対象とします。

令和5年9月25日(月)～令和6年1月31日(水)

【応募資格】

1. 年齢、性別、国籍、住所地、プロ・アマ問わず、どなたでもご応募いただけます。ただし、自分自身のInstagramアカウントを持ち、かつ公式アカウントをフォローしている人に限ります。
2. 未成年者の応募は、保護者の同意を得たものと見なします。

【審査方法】

1. 大石田町公式アカウントまたは涌谷町公式アカウントタグ付けとハッシュタグ「#絆フォトコン」によって、大石田町にかかわる写真と涌谷町にかかわる応募写真を抽出します。
2. 抽出した応募写真を審査員(大石田町および涌谷町の写真館を予定)が審査し、山形県大石田町賞、宮城県涌谷町賞、入賞を選定します。
3. 選定された受賞写真は、大石田町公式アカウントおよび涌谷町公式アカウントでリポスト(再投稿)します。
4. 審査基準は、大石田町または涌谷町の風景や歴史、芸能、食・グルメ、産業、文化などのそれぞれの地域に根付いているインパクトある瞬間を映していることを重視します。

その他詳細は、涌谷町公式ホームページをご覧ください。

【問い合わせ先】

涌谷町企画財政課 ☎43-2112

広告

♪ 佐藤音楽教室 生徒募集

☆3歳以上のお子さんは、いつでもピアノ無料体験できます。
☆電子オルガン(エレクトーン)もレッスンできます。



【教室所在地】
涌谷教室 ☎42-3077
※涌谷第一小学校・福祉センター近く
古川教室 ☎22-1610
※古川第四小学校近く・ブックオフ隣

ホームページはこちら！ <http://satoongakukyousitu.blog.fc2.com/>

広告

涌谷町シルバー人材センターからのお知らせ

涌谷町に居住する健康で意欲のある60歳以上の方が登録しております。令和5年度もそれぞれの方の技術や体力に合わせてがんばってまいりますので、よろしく願いいたします。

【入会を希望される方について】

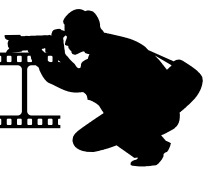
随時入会説明をいたしますので、事務所へお越しください。

【仕事の依頼について】

電話か事務所に直接お越しください。仕事の内容・条件・予算をお伺いし、まずは、お見積りいたします。

▶ 問い合わせ先

(公社)涌谷町シルバー人材センター ☎44-1710



勇壮に一致団結 涌谷町消防団秋季演習を挙行

9月3日(日)に、涌谷スタジアムにおいて、涌谷町消防団の秋季演習が挙行されました。

当日は、厳しい残暑の中、消防団の活動服を着用し、田村敏幸団長が指名した若山正則副団長の指揮の下で、服装・姿勢・態度を確認する通常点検を皮切りに、機械器具点検、小隊訓練が順に執り行われ、併せて新入団員への辞令交付や功績があった団員に対する表彰伝達が行われました。



夕暮れ時に愛らしく舞う 妙見宮例大祭で古式獅子舞が演舞

9月2日(土)に、日向行政区にある妙見宮において例大祭が行われ、涌谷町無形民俗文化財の古式獅子舞が、妙見宮拝殿前と妙見宮の日向区集会所の前でそれぞれ演舞されました。

日が暮れ始め、荘厳な雰囲気にも包まれる妙見宮の境内地内にはおはやしが響き渡り、きらびやかな衣装をまとったお稚児さんたちが愛らしく、2頭の獅子をあやすかのように演舞し、観覧に来ていた人々を楽しませていました。



2015年・2016年以來の参加 水曜どうでしょうキャラバン2023に出展

9月9日(土)10日(日)の2日間、仙台市太白区にある杜の広場公園において、北海道テレビ主催の水曜どうでしょうキャラバンが開催され、涌谷町として出展しました。2015年と2016年に、わくや天平の湯と涌谷スタジアムで開催して以來の参加となりました。

今回も水曜どうでしょう本編にも出演している北海道テレビの藤村忠寿氏と嬉野雅道氏を中心に、どうでしょうキャラバン縁のアーティストらがステージに出演するイベントとなり、9月中旬とは思えない真夏日の2日間でありましたが、大勢の水曜どうでしょうファン(通称：藩士)が来場しました。

涌谷町ブースでは、涌谷町での過去の開催を思い出して楽しんでもらえるよう、正解数に応じて水曜どうでしょうにちなんだ缶バッジがもらえる第四回カルトクイズ世界大会をはじめ、過去の開催でも協力いただいたわくや産直センター黄金の郷のつきたてのずんだ餅の物産販売、砂金とり体験コーナー、涌谷町産金のいぶきや城山の金さんのはと麦茶などの物産販売を行いました。

過去の涌谷町での開催にも訪れたことがあるという藩士がわざわざ声をかけてブースに立ち寄ってもらえるなど、2日間とも終始にぎわっていました。





東北のへその自治体が一堂に 東北のへそまつりに出展

9月12日(火)13日(水)の2日間、仙台市青葉区の勾当台公園市民広場で、東北のへそ地域となる宮城県大崎地域・山形県最上地域・秋田県雄勝地域の自治体が一堂に会する東北のへそまつりが開催されました。

涌谷町ブースでは、わくや産直センター黄金の郷の新鮮な朝採れ野菜や物産販売、涌谷町地域おこし協力隊宮澤隊員の活動紹介、お茶屋節踊り保存会の皆さんによる踊りの披露など、2日間にわたって涌谷町をPRしてきました。



しんごうをまもります 第3回こじかクラブ交通教室

夏休み明けの8月下旬から9月上旬にかけて、涌谷町内の幼稚園やこども園、保育園において、交通ルール・交通安全を学ぶこじかクラブ交通教室の今年度3回目の教室が開かれました。

3回目のテーマは、「しんごうをまもります」。涌谷町交通安全指導員が手作りした紙芝居をとおして信号の色ごとの約束事を学び、正しい信号の渡り方を練習。ごほうびの手品に園児の皆さんは驚愕し、大喜びしていました。



子育て支援サークル・おひさまスマイル活動報告 おひさまカフェ de カラーセラピー

9月1日(金)『おひさまカフェ de カラーセラピー』を開催しました。講師は、涌谷町在住 Color healing room A.のネイリストでもあるカラーセラピストの櫻井あいさん。

カラーリウムというカラーセラピーで、自分の選んだボトルの色から潜在意識に隠されたメッセージを伝えていただきました。色を通してこれからのヒントや自信を得ることもでき、自分と向き合える時間になりました。セッションの待ち時間はティータイムを楽しみました。

遠藤 紘雄 町長コラム

積読

秋の夜長、読書の季節。本好きの方々にとっては枚数の進む季節だ。私の菩提寺の副住職は無類の読書家だった。若くして逝去されたが思慮深く、品格は高く、好奇心の旺盛な方であった。彼の葬儀で友人が、「何故そんなに本を読むのか」と聞けば副住職は、「さまざまな人の考え方や生き方など、知らないことを教えてくれる、本は読まなきゃ勿体ない」と話し、感銘を受けたそうである。秋の夜長、たとえ積読になろうとも多くの本を読みたくなった。

《遠藤 紘雄 町長の主な公務(8月16日～9月15日)》

- 8月23日(水) UPZ関係自治体首長会議の女川原子力発電所視察 (女川町)
- 8月28日(月) 石巻・新庄地域高規格道路建設促進期成同盟会総会 (石巻市)
- 8月29日(火) 公立病院経営強化プラン調整協議会 (大崎市)
- 9月 2日(土) 令和5年度宮城県9.1総合防災訓練 (石巻市)
- 9月 7日(木) 涌谷町議会定例会9月会議 (役場) ~9月13日(水)